

	2011年8月	2011年9月	2011年10月	最近の経済動向
世界	- G7緊急声明:金融安定化、成長にあらゆる手段、為替に適切に協力 - ドバイ原油 19日 106ドル TV用液晶パネル 30%下落 - 世界半導体売上高 7月 1.1%減	G7:世界経済減速国際協調で対応、米:雇用、欧:金融安定化、日:震災復興 - G20:銀行システム、金融市場安定に行動計画(11月) - 16日米欧中銀、欧州にドル資金供給 - 世界半導体売上高 8月 2.2%減	- ドバイ原油 5日 97ドル、13日 104ドル - 世界パソコン出荷 7-9月 3.6%増	・中国内需・輸出で成長維持、インド 7%台成長、韓・台成長鈍化、ASEAN 明暗。米成長鈍化も輸出・消費堅調。欧州輸出鈍化・消費低迷。日本景気低迷。欧米信用不安、株価下落・世界的インフ、中東政変が懸念材料
日本	- GDP:4-6月:前期比年率 2.1%減、3期連続 -、消費 0%、投資 0.9%減、輸出 4.9%減、11年度:1.5 0.5%下方、消費 0.2%減、投資 1.7増、輸出 1%増 - 株価:16日 9,107円、23日 8,628円 - 物価:薄型TV40型4万円、7月:消費者 0.1%上昇 - 雇用:7月:失業率 4.7% 0.1%悪化 - 所得:7月:現金給与 0.1%減 2ヶ月連続 - - 消費:7月:消費支出 2.1%減、小売販売額 0.7%増、新設住宅 21.2%増、新車販売 23.3%減 - 受注:7月:工作機械 34.6%増、産業機械 0.9%増 - 生産:7月:鉱工業 3.8%増、前月比 0.6%増、機械 3.1%減 - 貿易:20日 75.95円最高、7月:輸出 3.3%減、輸入 9.9%増 - 収益:4-6月:純益:物産 29%増、三菱 18%減、伊藤忠 2.2倍、住友 36%増、丸紅 58%増、ダイキン 88%増、千代化 24%増、三菱重 8%減、リコー 53%減、ローム 49%減、最終益:ニコン 3.8倍 306億円、キヤノン 20%減、富士フィルム 18%減、オリンパス 21億円赤、エプソン 32億円赤、東洋インジ 10億円赤 - 投資:三菱重・洋上風力 R & D 200 億円、東芝 HDD 容量 6倍開発、4-6月:全産業 7.8%減、7月:機械前月比 8.2%減、11年度:R&D 投資 6.1%増 10.9兆円、設備投資 16.3%増	- 景気:短観 +2、6月より 11ヵ月改善 - 財政・金融:2日 野田内閣発足、円高中間対策(国内立地促進、雇用対策基金) 9日長期金利 0.99%へ - 株価:1日 9,067円、27日 8,374円 - 雇用:8月:失業率 4.3% 0.4%改善 - 所得:8月:現金給与 0.6%減 3ヶ月連続 -、勤労者世帯収入 1.7%減 - 消費:8月:消費支出 4.1%減、6ヶ月 -、小売販売 2.6%減、新車販売 22.4%減、住宅着工 14%優遇策期限 - 受注:8月:産業機械 5.8%減、工作機械 15.3%増 - 貿易:26日対1-10 102.6円台、8月:輸出 2.8%増 6ヶ月ぶり - 生産:8月:鉱工業前月比 0.8%増、在庫 2.1%増、自動車 1.8%増、建機出荷 19.3%増 - 投資:8月:機械受注民需前月比 11%増 - 技術:ニコン中小パネル製造装置生産効率 4割増	- 株価:5日 8,381円、17日 8,882円 - 消費:9月:新車販売 1.7%増、薄型TV販売 52%減 - 受注:9月:工作機械 20.3%増 - 貿易:4日対1-10 100.76円台、 - 収益:4-9月:営業益:ニコン 3.2倍 500億円、日立建機 50%増 180億円、日立ハイテク 16%減、7-9月:営業益:エルビ・ダ 400億円赤字、15年迄:キヤノンコスト削減3千億円 - 技術:TDK・HDD容量2倍以上、トヨタ1千キロ走行電池試作、マツダ容量2倍電池電極材料開発、NEC寿命20年住宅用電池開発	(前々月)・GDP4-6月は2.1%減と3期減。企業業績4-6月は明暗も総じて減益傾向。株価は米欧信用不安で大幅下落。輸出は低迷続く。設備投資減少傾向。所得の伸び停滞。失業率は4%後半やや悪化。消費は自動車中心に低迷。生産は伸び率が鈍化。景気低迷続く。景気回復、雇用拡大が最大課題。極端な円高等による輸出の低迷が懸念材料 (前・当月)・GDP4-6月は2.1%減と3期減。企業業績は明暗も総じて減益傾向。株価は欧州信用不安での大幅下落からやや回復。輸出は半年ぶりプラス。設備投資やや回復の兆し。所得の伸び停滞。失業率は高水準もやや改善。消費は車・家電減少で低迷。生産は回復傾向。景気はやや改善の兆し。景気回復、雇用拡大が課題。極端な円高等による輸出の低迷が懸念材料
アジア・大洋州	- 株価:上海 12日 2,619、22日 2,515 9日アジア株軒並み安 - 中国:賃金高騰5年で2倍、製造業景況感 0.2%低下、人民元対ドル最高値、4-6月:純益:レノボ 98%増 83億円、サンテック 199億円赤字、1-6月:純益:上海 22%増、7月:輸出 20.4%増、輸入 22.9%増、新車販売 2.2%増、消費者物価 6.5%増 - 韓国:ペルー・FTA発効、ウォン安戦略、7月:輸出 27.3%増、新車販売 6%増、消費者物価 4.7%食品・石油、 - 台湾:4-6月:最終益:ホンハイ 22%減 129億台\$,アスス 8%増、広達 5%増、イサイ 180億円赤字、コンパル 51%減、7月:輸出 17.6%増IC、スマート、海外受注 11.1%増、鉱工業生産 3.9%増 - ASEAN6カ国:4-6月:GDP 2.7%鈍化、7月:車販売 8%増 フィリピン:4-6月:GDP 2.4%増、7月:車販売 13%減 - インドネシア:7月:輸出 40%増車販売 24%増、消費者物価 4.6% ベトナム:4-6月:GDP 10.5%増、7月:車販売 11%減 マレーシア:4-6月:GDP 2.3%増、7月:車販売 6%減 - タイ:0.25%引上げ年 3.5%へ、7月:消費者物価 4.1%、自動車生産 1%増、車販売 11%増 - インド:7月:鉱工業生産 3.3%増鈍化、新車販売 2%減	- 株価:上海 1日 2,562、6日 2,476 - アジア:GDP 11年 7.5%増 - 中国:8月:工業生産 13.5%増、小売売上高 17%増、輸出 24.5%増、輸入 30.2%増、新車販売 4.2%増 138万台、消費者物価 6.2% 0.2%低下、1-8月:固定資産投資額 25%増、11年:GDP 10.3 10.4%上方 - 韓国:サムスン 20ナノDRAM量産世界初、8月:輸出 27.1%増ウォン1年1ヶ月ぶり安値、消費者物価 5.3%、新車販売 4%増 - 台湾:8月:鉱工業生産 3.9%増、輸出 7.2%増、輸入 6.4%増、海外受注 5.3%増 - ASEAN6カ国:8月:新車販売 11%増 ベトナム:8月:車販売 10%増、消費者物価 23%増 - インドネシア:8月:車販売 13.1%増、消費者物価 4.6% - タイ:8月:車生産 9%増、車販売 20%増、輸出 31%増消費者物価 4.3% マレーシア:8月:車販売 6%増 - インド:8月:鉱工業生産 4.1%増、新車販売 0%、卸売物価 9.8%	- 株価:上海 11日 2361、13日 2432 - 中国:国慶節消費(10/1-7)17.5%増、9月:輸出 17.1%増、輸入 20.9%増、新車販売 5.5%増、購買者景気指数 51.2% 0.3%上昇、消費者物価 6.1% - 韓国:7-9月:営業益:サムスン 14%減 2700億円スマ好調 - 台湾:9月:輸出 9.9%増、輸入 10.8%増、7-9月:純益:宏達 68%増スマ - タイ:9月:消費者物価 4% - インド:9月:新車販売 5%増3ヶ月ぶり+、卸売物価 9.7%、7-9月:インフオシス 10%増	(前々月)・中国は4-6月GDP9.5%と投資・輸出・消費を中心に好調維持、一方、インフレ引締で、新車減速。韓国、輸出好調 3%台成長もインフレ傾向。台湾、輸出減速、生産鈍化。共に企業業績低下。ベトナム、10%台成長も高インフレ。インドネシア、6%台成長もインフレ沈静化。マレーシア、フィリピン、2%台成長。タイ、シンガポール、マイナス成長。インド、7%台成長も車販売減速。持続的成長が課題。 (前・今月)・中国は4-6月GDP9.5%、投資・輸出・消費を中心に好調維持、一方、金融引締で、車販売減速。韓国、輸出好調で3%台成長もインフレ傾向。台湾、輸出減速、生産鈍化。共に企業業績低下。ベトナム、10%台成長も高インフレ。インドネシア、6%台成長もインフレ沈静化。マレーシア、フィリピン、2%台成長。タイ、シンガポール、マイナス成長。インド、7%台成長、車販売やや回復。持続的成長が課題。

北 米	<p>-財政・金融政策: ゼロ金利 13 年半ばまで、11 年度: 財政赤字 1.28兆ドル、対 GDP 比 8.5%</p> <p>-GDP: 4-6 月前期比年率 1.3%増 0.3 兆ドル上方修正、消費 0.7%増、投資 10.3%増、輸出 3.6%増</p> <p>-株価: 6 日米国価格下げ、NYダウ 11 日 1万 720 ドル、16 日 1万 1,560 ドル</p> <p>-雇用: 7月: 失業率 9.1% 0.1 兆改善 11.7 万人増</p> <p>-所得: 7月: 個人所得前月比 0.3%増</p> <p>消費: 7月: 個人消費前月比 0.8%増、小売売上高 8.5%増、卸売売上高 14.4%増、耐久消費財前月比 1.6%増、新車販売 0.9%増、住宅着工 9.8%増、新築販売 6.8%増、住宅価格 4.1%下落</p> <p>-受注: 7月: 耐久財前月比 9.4%増自動車増、</p> <p>-生産: 7月: 鉱工業前月比 0.9%増 3ヶ月+</p> <p>-貿易: 7月: 輸出 17.2%増、輸入 15.8%増</p> <p>-収益: 5-7 月: デル 63%増 680 億円、シスコ 36%減 950 億円、ディア 15%増 550 億円、</p>	<p>-GDP: 11 年: 2.7 1.7%下方修正</p> <p>-景気: 地連銀「経済緩やかなペースで拡大、一部で斑模様」、8 日「景気雇用対策で 35兆円、雇用促進税制、インフラ整備、8 月: 消費者信頼感指数 44.5、14 兆円下落</p> <p>-財政・金融政策: 22 日国債 1.85%、22 日金融緩和強化・国債 44 億ドル購入、超低金利 13 年半ばまで</p> <p>-株価: NYダウ 23 日 1万 726 ドル、30 日 1万 1,154 ドル</p> <p>-雇用: 8月: 失業率 9.1% 横這、雇用増「0」</p> <p>-物価: 8月: 卸売 6.5%増、消費者 3.8%増</p> <p>-所得: 8月: 個人所得前月比 0.1%減</p> <p>消費: 8月: 個人消費支出前月比 0.2%増、耐久財 0.1%減、小売売上高前月比 0.3%増、新車販売 7.5%増 107 万台、新築販売 6.1%増、住宅着工 5.8%減</p> <p>-受注: 8月: 耐久財 10.1%増自動車増</p> <p>-生産: 8月: 鉱工業前月比 0.2%増 4ヶ月+</p> <p>-貿易: 8月: 輸出 16.8%増、輸入 13.2%増</p> <p>-収益: 6-8 月: オラクル 36%増 1400 億円</p>	<p>-景気: 9月: 消費者景気指数 59.4% 3.7 兆円上昇、製造業景況感 51.6% 1 兆円上昇</p> <p>-財政・金融政策: 財政赤字 11 年度 (10/10-11/9) 1.3 兆ドル 前年横這</p> <p>-株価: NYダウ 5 日 1万 550 ドル、15 日 1万 1,644 ドル、コダック株 1 兆円割れ</p> <p>-雇用: 9月: 失業率 9.1% 横這、10 万人増</p> <p>消費: 9月: 小売売上高前月比 1.1%増、小売売上高 5.5%増、新車販売 9.9%増 105 万台</p> <p>-収益: 7-9 月: 最終益: 主要 500 社 13%増、ケール 26%増 27 億ドル</p>	<p>(前々月)・GDPは4-6月1%増で8期連続+ 緩やかな回復。大幅な財政赤字。株価は債務問題・欧州不安で大幅下落。企業業績4-6月迄7期連続+。輸出は好調。失業率高水準高止り。個人消費は堅調、車販売回復傾向、住宅販売増加傾向。投資は回復傾向。受注、生産増加傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)</p> <p>・GDPは4-6月1.3%増で8期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で大幅下落もやや回復。企業収益7-9月迄8期連続+。輸出は好調。失業率高水準高止り。個人消費は堅調、車販売回復傾向、住宅販売増加傾向。投資は回復傾向。受注、生産増加傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧 州	<p>-財政・金融: 中銀政策金利据置、伊、スぺの国債買入</p> <p>-株価: 英 FTSE 11 日 5,007、17 日 5,357、</p> <p>-インフレ率: 7月: ユーロ 2.5%、独 2.6%、仏 2.1%、英 4.4%、蘭 2.9%、スペイン 3%、ポーランド 3.6</p> <p>-雇用: 7月: 失業率ユーロ 10%、0.1 兆悪化、独 6.1%、仏 9.9%、伊 8%、蘭 4.3%、スペイン 21%、ポーラ 9.4</p> <p>-消費: 7月: 小売売上高: ユーロ 0.2%減、独 1.6%増、仏 0.8%増、英 0.3%増、スペイン 3.9%減、ポーランド 1.4%減、新車販売: ユーロ 1.9%減、独 9.9%増、仏 5.7%減、英 3.5%減、伊 10.3%減、蘭 9.9%増、スペイン 4%減、ポーラ 5.8%減</p> <p>-製造業受注: 6月: ユーロ 11.1%増、独 11.6%増、仏 20.2%増、英 2.9%減、蘭 3.1%増、スペイン 2.7%増、ポーランド 10.8%増</p> <p>-鉱工業生産: 7月: ユーロ 4.2%増、独 10.4%増、仏 3.3%増、英 0.4%減、伊 1.6%減、蘭 4%増、スペイン 3%減、ポーラ 3.8%増</p> <p>-貿易: 7月: 輸出ユーロ 5.1%増、輸入 6%増</p> <p>-収益: 4-6 月: 純益: 主要企業 1.4%増</p>	<p>-GDP: 11 年: 1.9 1.6%下方修正</p> <p>-景気: 8月: 製造業景気指数 8 日 49、1.4 兆円低下</p> <p>-財政・金融: 欧州信用不安・ギリシャ、伊支援不能の懸念、伊・VAT 引き上げ 20 21%、仏・ボルトガル富裕税引上げ、欧州中銀政策金利据置(1.5%)、南欧財政再建遅れ・欧州北部支援打切り圧力</p> <p>-株価: 英 FTSE 2 日 5,418、23 日 5,041 伊、ギリシャ国債利回り高騰</p> <p>-雇用: 8月: 失業率ユーロ 10% 横這、独 6%、仏 9.9%、スペイン 21.2%</p> <p>-消費: 8月: 新車販売: 欧州 8%増、独 18%増、仏 3%増、英 7.3%増、伊 1.5%増、スペイン 5.9%増</p>	<p>-景気: 7-9 月: ユーロ景況感 6.9 兆円低下</p> <p>-財政・金融: 欧州中銀政策金利据置年 1.5%、欧州債務危機対応包括戦略(ギリシャ融資、銀行の資金増強、欧州金融安定化基金拡充)</p> <p>-株価: 英 FTSE 5 日 4944、15 日 5466</p> <p>-物価: 9月: 消費者: ユーロ 3%、0.5 兆円上昇</p> <p>-消費: 9月: 新車販売: 独 8%増 28.8 万台</p> <p>-収益: 7-9 月: 最終益: ソニーエリクソン「0」</p>	<p>(前々月)・GDP4-6月1%増、輸出主導も鈍化。信用不安で株価下落。企業業績は自動車中心に回復傾向、電子悪化。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売マイナスからプラスへ、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)・GDP4-6月1%増、輸出主導も鈍化。信用不安で株価下落もやや回復。企業業績は自動車業界回復傾向、電子業界悪化。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売マイナスからプラスへ、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題</p>
中 東 ア フ	<p>トルコ: 4-6 月: GDP 8.8%増個人消費・設備投資好調</p> <p>リビア: カダフィ政権崩壊</p>			<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトへの影響懸念。アラブ政変の影響が懸念材料、イラクアガ、中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中 南 米	<p>-ブラジル: 株 8.1%下落、4-6 月: GDP 3.1%増、設備投資・個人消費堅調、固定資産前期比 1.7%増、個人消費同 1%増</p> <p>メキシコ: 4 6 月: GDP 3.3%増 6 期連続+</p>	<p>-ブラジル: 0.5%利下げ 12%へ、レアル急落、8 月: 新車販売 4.7%増 32.7 万台</p>	<p>-ブラジル: 9 月: 新車販売 1.5%増 31 万台</p>	<p>・ブラジル経済はインフレ、金融引締等で減速傾向。メキシコ経済とともに 3%成長と堅調。持続的成長が課題。</p>
露 東 欧	<p>-ロシア: 4-6 月: GDP 3.4%</p>	<p>-ロシア: 原油生産最高(原油価格高止まりで)、GDP: 11 年 4.1%、</p>		<p>・ロシアは石油価格の高止まり、新車販売、投資等内需中心に経済堅調。持続的回復が課題。</p>

中東諸国、ロシア、ブラジル、メキシコ 「経済動向 (国名)」で検索 世界のビジネスニュースで